

アジア・オセアニア 豆知識



※当資料は「アジアリサーチセンター」のレポートを基に作成しています。

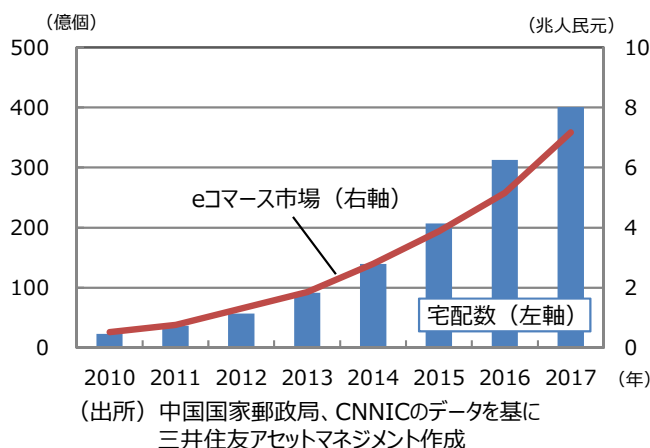
eコマース市場の拡大を背景に物流需要が高まる中国

中国のeコマース市場が急拡大しており、今後、物流の重要性が高まると考えられます。日本や海外企業も参入し、eコマースを牽引役とした中国物流事業は今後も拡大すると見込まれます。

2017年の中国宅配数は400億個を超える水準に

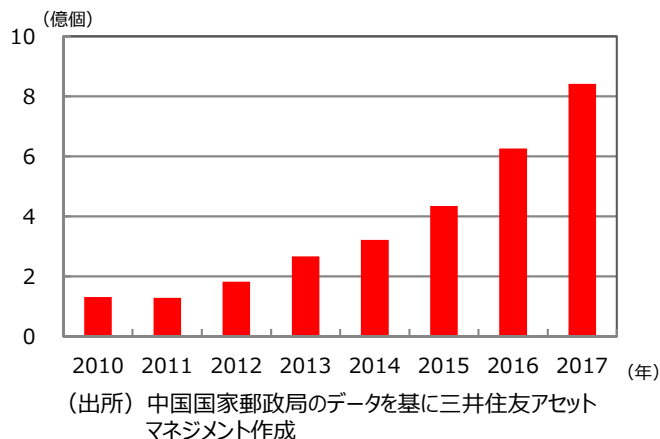
- 中国の2017年のeコマース市場は約7.2兆人民元（約124兆円*）で前年比+39%と好調に推移し、2010年の約0.5兆人民元（約9兆円*）に比べ約14倍に拡大しました。eコマース市場の拡大にともない宅配数も増加しており、2017年は約401億個と2010年の約23億個から約17倍に拡大しました（図表1）。中国では急速にeコマース市場が成長し、物流も急拡大しています。日本の宅配数は2016年度で約40億個であり、中国は宅配でも巨大市場となっています。

（図表1）中国国内の宅配数とeコマース市場の推移



- また、中国から海外のインターネット通販サイトを利用する越境eコマースも拡大傾向です。越境eコマースによる中国での宅配数は2010年の約1.3億個から2017年は約8.4億個に拡大しました（図表2）。

（図表2）中国の越境eコマース宅配数の推移



中国人の海外商品に対する需要は大きく、例えば日本の健康食品やベビー用品などに人気があります。

越境eコマースの日本からの配送を担うのが佐川急便、ヤマト運輸などです。その他海外企業ではマレーシアのKerry Logistics、米国のUPS、FedEX、ドイツのDHLなどが中国市場に参入しています。

* 為替レートは1人民元 = 17.288円（2017年末）で換算。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。
 ※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。